

環境調査結果のお知らせ

令和2年6月12日午後1時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は、水温が21.4～24.9℃、塩分が29.6～34.3、溶存酸素量が6.3～7.6mg/Lでした。
透明度は2.5～5.0mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で1,640 cells/mL、ケラチウム属が最高で17 cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は21.4～24.9℃、塩分は29.6～34.3でした。
前回調査時(R2.5.20)と比較して、水温は全層で2.1～3.3℃上昇しました。塩分は表層で2.9上昇し、2m層から底層で0.1～0.3低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.3～7.6mg/Lでした。
前回調査と比較して、表層から10m層で0.2～1.4 mg/L減少しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は2.5～5.0mでした。
検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で1,640 cells/mL、ケラチウム属が最高で17 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

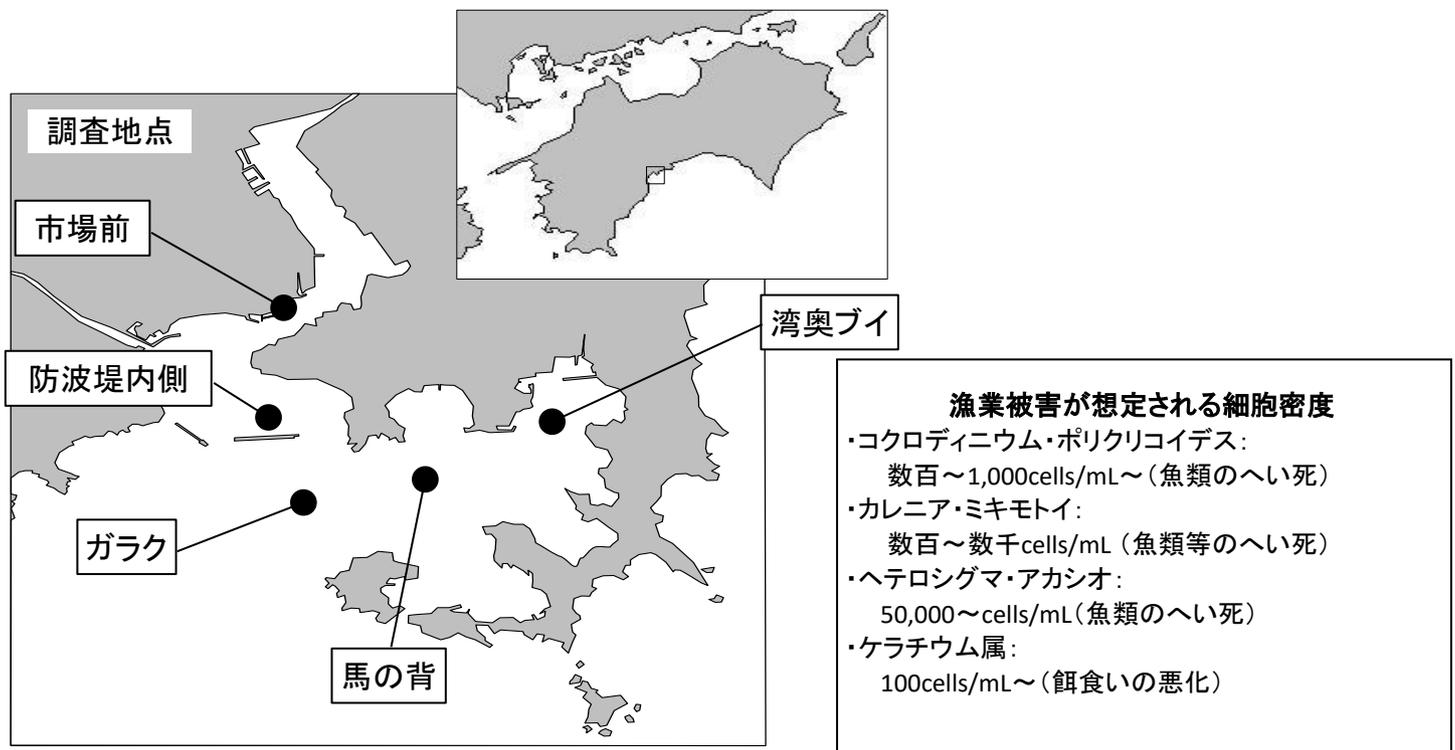


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.5.20)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	24.9	24.5	24.0	23.3	24.5	21.2	3.3	23.3
2m	23.8	23.7	23.2	23.6	23.6	20.9	2.7	23.4
5m	23.6	23.3	22.7	23.4	23.2	20.3	2.9	23.3
10m	22.8	22.7	22.5	-	22.6	20.0	2.6	22.9
B-1m	21.5	21.4	22.3	22.6	21.7	19.6	2.1	22.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.5.20)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	30.0	31.0	29.6	12.6	30.2	27.3	2.9	18.3
2m	32.8	32.8	32.1	32.2	32.6	32.7	▲ 0.1	31.6
5m	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.9	▲ 0.3	33.5
10m	33.9	34.0	33.9	-	33.9	34.2	▲ 0.3	33.8
B-1m	34.3	34.3	34.1	34.0	34.3	34.4	▲ 0.1	33.9

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.5.20)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.6	7.0	6.8	10.1	7.1	8.5	▲ 1.4	8.4
2m	7.4	6.6	6.6	7.9	6.9	8.0	▲ 1.1	6.9
5m	6.8	6.6	6.3	7.1	6.6	7.2	▲ 0.6	6.7
10m	6.4	7.0	6.9	-	6.8	7.0	▲ 0.2	6.4
B-1m	7.2	7.2	7.3	6.4	7.2	7.2	0.0	6.4

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.3	24.0	14.7	10.8	12.0
透明度	4.5	4.0	5.0	2.5	2.5
前回(5/20)	2.0	2.5	3.5	1.5	1.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	80	0	280
	2m	0	0	20	7	190
	5m	0	0	0	17	140
馬の背	0m	0	0	30	0	300
	2m	0	0	40	5	220
	5m	0	0	0	5	150
ガラク	0m	0	0	300	0	720
	2m	0	0	100	1	280
	5m	0	0	20	1	160
津波防波堤内側	0m	0	0	1,640	0	660
	2m	0	0	280	2	1,500
	5m	0	0	0	7	260
市場前	0m	0	0	0	0	130
	2m	0	0	0	0	1,220
	5m	0	0	0	1	70